



ASIS インターナショナル日本支部  
広報担当理事 長瀬 泰郎



## ■ 9 月例会報告

ASIS インターナショナル日本支部では毎月第 3 火曜日に都内で月次セミナーを開催しています。

9 月 16 日の例会では、ICT 創研技術士事務所代表の安田晃氏に「ここまで来た、情報セキュリティの脅威」というタイトルで講演をお願いしました。

電機メーカー出身の安田氏は、(社)日本技術士会理事、東北大学電気通信研究所客員教授、(財)日本情報処理開発協会審査担当などのほか、総務省の CIO 補佐官も務めるなど、情報処理のプロとして各方面で活躍されています。

氏はまず、ネットワークでつながるあらゆるハードウェアにもウィルスが混入する可能性があることを警告しました。カーナビや MP3 プレーヤー、外付けハードディスクに混入した事例も報告されています。



講演する安田氏

また、これまでウィルス被害とは無縁だったネットワーク化される家電や携帯電話へのウィルスやスパイウェアの混入が顕在化しつつあります。

「利用者や管理者の意図に反してインストールされ、利用者の個人情報やアクセス履歴などの情報を収集するプログラム等」と定義されるスパイウェアは近年ますます進化し、ボットネット(Botnet)などのように高度化したものが現れました。近い将来、携帯電話を紛失しただけで個人情報漏えい事件として取り扱われることも現実味を帯びてきました。

スパム(迷惑メール)についても、テキストでなく、画像ファイルに書き込むことにより対策ソフトをかいくぐるものが出てきました。そこで画像ファイル内の文字を OCR(文字読取技術)で読み取って判別したうえで対策する手法も利用されるようになりました。



セミナーの様子

このほか最近の事案としては、官公庁など特定のユーザーや組織を狙うスパ攻撃も増えてきました。

フィッシング(Phishing)と呼ばれる攻撃も様々な形のものが現れています。また、個人からだけでなく、複数のユーザーを一気にまとめて釣り上げるファームング(Pharming)のほか、SQL インジェクション、クロスサイト・スクリプティングなど高度な攻撃も大きな問題なりつつあります。

安田氏はさらにファイル交換(共有)ソフトウェアと各種検疫ネットワークを紹介しました。

安田氏は、不正の目的が愉快犯から金銭取得に変化しており、組織化、巧妙化、高度化、多様化のレベルがどんどん高まっていることを指摘しました。

氏は、単一あるいは部分的な対策を行なうのではなく、「物理と情報」、「機器とマネージメント対策」を有機的に連携し相互に補完させることがハイレベルの安全提供につながると強調しました。

リストラなどによる内部犯行が技術流出につながるということがないよう、内部の人のモラル、相互信頼を醸成すること、Next Generation Network の導入、セキュリティを包括的にとらえる危機管理(BCP, BCM)や企業の内部統制(J-SOX)に対して適切に取り組むことなどが困難な状況の打開につながると締めくくりました。



セミナーの様子 その2

10月の月次セミナー(10月16日、火曜日)では、ASIS インターナショナル日本支部の徳田支部長と筆者が、9月に米国で開かれた世界最大のセキュリティセミナーと世界最大規模のセキュリティ展示会訪問報告を行なう予定です。

詳細内容の確認と参加申し込みは日本支部ホームページからお願いします。

### ■ ASIS インターナショナル日本支部

ASIS インターナショナル日本支部は次のように積極的な活動を展開しています。

- 1) 月次セミナーの定期開催
- 2) セキュリティ専門家(特に在日外国企業のセキュリティ責任者)との情報交換
- 3) 事業継続計画の専門家との情報交換
- 4) 公的機関セキュリティ専門家との情報交換

特に次の方々に入会をお薦めします。

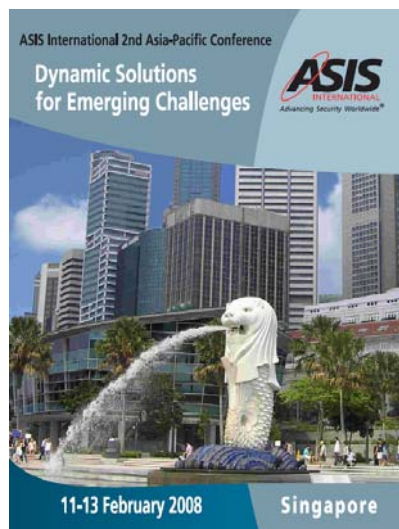
- ・ 企業、官公庁、団体でセキュリティや事業継続計画を担当する方
- ・ セキュリティのあり方を知りたい経営幹部
- ・ セキュリティ関連企業にお勤めの方
- ・ 各国のセキュリティ情勢に興味のある方
- ・ セキュリティ研究に携わる方

入会すると次のメリットがあります。

- ・ 月刊誌「セキュリティ・マネジメント」の購読
- ・ 月刊誌「月刊セキュリティ研究」の購読
- ・ 各種ボランティア活動への参画

### ■ 「アジア太平洋セミナーのご案内」

2008年2月11日から13日までシンガポールで、セミナーと展示会が開かれます。セキュリティを包括的に学びたい方には絶好の機会です。



このコーナーへのお問い合わせや入会お申込みは ASIS インターナショナル日本支部 事務局まで

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-2-17  
 日本保安人事株式会社内  
 TEL 03-3255-3468 FAX 03-3258-7630  
 E-Mail [info@asis-japan.org](mailto:info@asis-japan.org)/  
[www.asis-japan.org](http://www.asis-japan.org)